

気候変動による影響（例）

陸域	融雪時期の早期化 土壌の乾燥化	湿生お花畑の消失、チシマザサ拡大の進行（大雪山での事例）
	集中豪雨の頻発	土壌浸食や流出による植生崩壊
	気温の上昇	高緯度・高標高域への生態影響（絶滅懸念の報告：日本アルプスのライチョウなど）
	気温の上昇	樹種の潜在生育域の変化、世界遺産への影響 （ハイマツ、シラビソ、ブナの減少、アカガシの増加等に関する環境省の研究予測あり）
渡り鳥	大気条件の変化	渡り鳥の飛来経路への影響可能性（ハチクマの研究予測あり）
淡水魚	冬季の水温上昇	アユの遡上数の減少
沿岸生態	海面水温の上昇	生物の分布域変化（ミドリガイの越冬事例、南方系チョウチョウウオの観測時期拡大）
サンゴ	海水温の上昇	サンゴの白化事例の増加
藻場	海水温の上昇	沖合いや沿岸域における産卵場、索餌場、回遊経路の変化、浅羽における藻場、干潟の分布域や構成種の減少による餌料面からの影響 （水産庁の報告：次の順序で進行。①クロメ等の温帯性コブ目消失、ノギリモクやヤツマタモク等のホンダワラ類の藻場形成、②ホンダワラ類の消失、マクサ等の小型紅藻類が優先、③マクサ消失、磯焼け）

（出典）環境省、文科省、農水省、国交省、気象庁「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～（H30.2）」より、内容を加工の上引用。

関電グループの保有技術（例）

影響調査・分析

- <環境総合テクノス>
- ・外来種、希少種の調査、植物に関する生理、生態、生化学の研究 ⇒ [こちら](#)
 - ・陸生動植物等の調査、解析、評価、研究 ⇒ [こちら](#)
 - ・植物栽培、樹木の樹勢回復、再生に関するコンサルティング
 - ・海洋環境の調査研究。海洋中物質の挙動解析モデル開発。海洋観測機器等の設計、施工、コンサルティング ⇒ [こちら](#)
 - ・水産振興、魚介類の増養殖の調査研究。水族毒性試験。・分布、個体群調査

生態系保全・回復

- <環境総合テクノス>
- ・自生木の利用、表土(埋土種子)の利用等による復元緑化 ⇒ [こちら](#)
 - ・海藻着生率向上に効果のある炭プレート設置による藻場造成 ⇒ [こちら](#)
- <ニュージエック>
- ・湿原保全計画の立案、魚道設計